

「田子の浦港」の景観形成について

専門家による現地視察を行いました

田子の浦港では、富士山と港を臨み、地域資源が集中するエリアを「田子の浦港プロムナードゾーン」として、にぎわいある港づくりに取り組んでいます。

「田子の浦港漁協食堂」から「ふじのくに田子の浦みなと公園」までの間を「田子の浦港プロムナードゾーン」として、県が歩道のカラー舗装を、富士市が港越しに富士山を眺望できるデッキ等の整備とともに飲食店の設置を予定しています。

7月8日（水）には、景観工学が専門の日本大学理工学部の岡田智秀教授に現地へお越しいただき、飲食店の出店を予定している田子の浦漁協の関係者とともに、景観についての視察を行いました。

岡田教授からは、富士山や漁船などの「白」が主役となっていることから、ランドマークとなる飲食店も「白」を基調にしたほうが良いことや、歩道やパーゴラ、ベンチなどは目立たせないような色彩や模様にするなど、大変貴重なアドバイスをいただきました。

これから、これらのアドバイスを参考に「田子の浦港プロムナードゾーン」の整備に着手し、年度内の完成を目指してまいります。

今後も、田子の浦港管理事務所では、富士市とともに、にぎわいある港づくりを進めてまいります。



位置図（富士市 HP から引用）



イメージ図（富士市 HP から引用）



左写真：漁協付近の歩道



右写真：展望デッキ予定地